



▲号砲を合図に一齐にスタート

南丹・船井中学校体育連盟主催の第2回南丹・船井中学校ロードレース大会が、丹波自然運動公園で行われ、南丹市内と京丹波町内の中学校8校の1・2年生130人が参加し、男子3km、女子1.5kmの運動公園内のコースを走りました。厳しい寒さの中での大会となりましたが、選手たちは自分の力を出し切ってタイムを競い、男子は園部、女子は蒲生野が優勝しました。

「仲間の声援を受け健脚を競う」

(1/27・第2回南丹・船井中学校ロードレース大会・京丹波町)

今回で16回目となる園部町文化協会（高木茂会長）恒例の新春席書大会が南丹市園部公民館で行われ、家族連れやお年寄りら約50人が参加しました。大会では、小学1年生から6年生、中学生、一般の年代ごとに当日発表された「たこ」「竹うま」などの課題に取り組みました。出来上がった作品は、1月15日のそのべとんどまつりで書の上達を願い、炎にかざされました。



▲気持ちを落ち着かせて筆を進める

「新たな気持ちで書き初め」

(1/6・新春席書大会・園部町)

「未来に残したい平屋のものを取材」

(12/14・平屋小学校国語学習・美山町)



▲小林家住宅を取材する児童と佛大学生

平屋小学校では、4年生児童が佛教大学と連携し、「未来に残したいもの」をテーマに、地元平屋にしかないものを地域の人に取材する研究学習を行いました。児童は4班に分かれ、佛教大学の助教授や学生らの引率・指導の下、美山の水・食材で作るパン屋やかやぶき住宅の現地取材、植林や地元で伝承される京の伝統野菜「大内かぶ」の調理などをしました。取材終了後には、聞き取りした内容や学んだことを作文にまとめました。

「お正月を迎える、昔の生活体験」

(12/25・なんたんわくわくキッズ・日吉町)

南丹市教育委員会では、昔から行われてきた迎春の準備を子どもたちに体験してもらおうと、「なんたんわくわくキッズ」を日吉町郷土資料館で行い、市内の小学生30人が参加しました。

参加者らは地元の方に教えてもらい、悪戦苦闘しながら用意されたわらを束ね、新年への思いを込めた「しめ縄」を作っていました。

その後、もちつきが行われ、自分たちでついて丸めたもちを、おなかいっぱい食べていました。



▲しめ縄で正月飾りを作る子どもたち